

PAT-NO: JP02001314311A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001314311 A

TITLE: VIDEO SHOWING FUNERAL

PUBN-DATE: November 13, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OKAZAKI, KIMIO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OKAZAKI KIMIO	N/A

APPL-NO: JP2000174422

APPL-DATE: May 9, 2000

INT-CL (IPC): A47G033/00, H04N005/765 , H04N007/18

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To take a photograph of the living status and figure of a dead person before his death with a video and to enhance the significance of a funeral by showing them with the video in the funeral.

SOLUTION: In the funeral, a display 4 is placed in a position which is prominent from all attendants and a video tape 1 before editing or video tape 2 after editing are inserted into a video deck 3 to show.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-314311

(P2001-314311A)

(43) 公開日 平成13年11月13日 (2001. 11. 13)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
A 4 7 G 33/00		A 4 7 G 33/00	Z 5 C 0 1 8
H 0 4 N 5/765		H 0 4 N 7/18	U 5 C 0 5 4
// H 0 4 N 7/18		5/782	K

審査請求 有 請求項の数 1 巻面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2000-174422 (P2000-174422)

(22) 出願日 平成12年5月9日 (2000. 5. 9)

(71) 出願人 500271731

岡崎 公生

千葉県君津市中島211番地1

(72) 発明者 岡崎 公生

千葉県君津市中島211番地1

Fターム (参考) 5C018 FA03

5C054 AA01 DA08 EA05 EA07 FA05

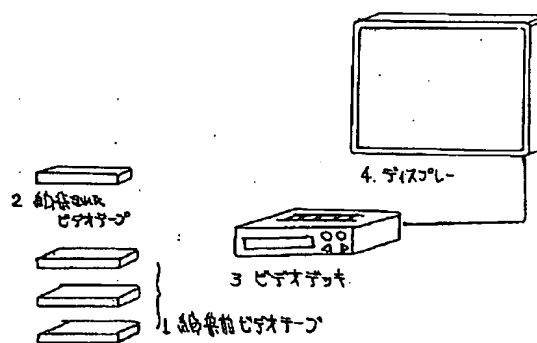
FF03 GA01 GB02 GD01 HA17

(54) 【発明の名称】 ビデオ上映装置

(57) 【要約】

【目的】 亡き人の生前の生活状況や姿をビデオ撮影しておき、葬儀にビデオ上映し、葬儀の意義を高める。

【構成】 葬儀にディスプレイ4を参列者全員から見やすい位置に置き、ビデオデッキ3に、編集前ビデオテープ1又は編集されたビデオテープ2を挿入し、上映することを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 亡き人の生前の生活状況や姿を納めたビデオテープ1や、これらを編集したビデオテープ2を、葬儀にビデオデッキ3に挿入し、ディスプレイ4にて表示するビデオ上映葬儀。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、葬儀に亡き人の生前の生活状況や姿をビデオ上映することに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より、葬儀は、読経、弔辞、焼香や喪主の挨拶のみであった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

(イ) 葬儀に参加している人は、単に参加しているという認識しかなく、故人に対する惜別の念が薄かった。

(ロ) 参列者にとって亡き人との関係を想い出す事柄が少なかった。

本発明は、これらの欠点を除くためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】亡き人の生前の生活状況や姿をビデオテープ1に撮影しておき、葬儀の式次第の一部にビデオ上映を組み入れるため、ビデオテープ1やこれらを編集したビデオテープ2をビデオデッキ3を使用してディスプレイ4にて上映する。本発明は、以上のような構成よりなるビデオ上映葬儀である。

【0005】

【作用】ディスプレイ4を葬儀の参列者全員の見やすい位置に置き、事前に撮影したビデオテープ1や編集したビデオテープ2をビデオデッキ3に挿入し、ディスプレイ4にて上映する。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

(イ) 亡き人の生前の生活状況や姿等をビデオテープ1に撮影しておく。

10 (ロ) 亡くなった時点で、ビデオテープ1を編集して、ビデオテープ2を作成する。

(ハ) 喪主又は遺族等の希望により、葬儀でビデオテープ1又はビデオテープ2をビデオデッキ3を使用して、ディスプレイ4にて上映する。

以上の構成からなるビデオシステムを使用し、葬儀にビデオ上映する。

【0007】

【発明の効果】葬儀の参列者は、亡き人の生前の生活状況や姿を思い起こすことが出来て、故人を心から忍ぶことができる。また、ビデオテープ1又はビデオテープ2を保存することにより、遺族はもちろん故人の関係者はいつでも故人の姿をビデオを通して観ることができる。

【図面の簡単な説明】

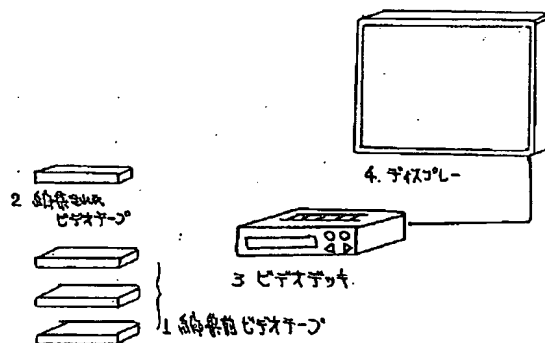
【図1】本発明の説明図である。

【図2】本発明の平面図である。

【符号の説明】

1 編集前ビデオテープ 2 編集されたビデオテープ
3 ビデオデッキ 4 ディスプレー

【図1】



【図2】

